Form No. 3424-689 Rev B

油圧パワーパック

プロパス 200 トップドレッサ 牽引シャーシモデル用

モデル番号 44713—シリアル番号 403300001 以上

取り付け要領

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細は、この冊子の巻末にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

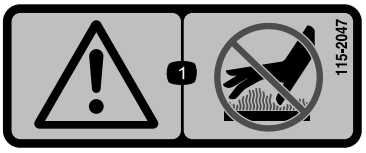
⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
カリフォルニア州では、この製品に使用されているエンジンの排気には発癌性や先天性異常などの原因となる物質が含まれているとされております。
バッテリーやバッテリー関連製品には鉛が含まれており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。取り扱い後は手をよく洗ってください。

安全について

安全ラベルと指示ラベル

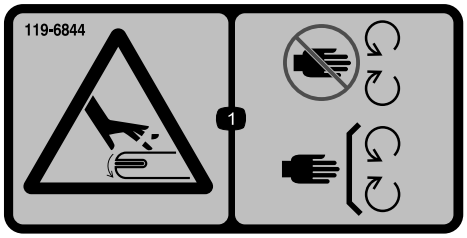
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼り直してください。



decal115-2047

115-2047

1. 警告高温部に触れないこと。



decal119-6844

119-6844

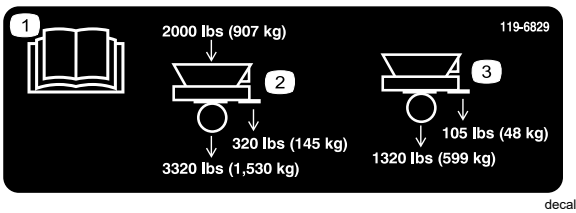
1. 切傷や手足の切断の危険コンベアに近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。



decal119-6807

119–6807

1. 警告ここに乗らないこと



decal119-6829

119-6829

1. *オペレーターズマニュアル*を読むこと。
2. 最大負荷 907 kg を積んだ場合、車軸重量は 1,530 kg となり、トング重量は 145 kg となる。
3. 無積載状態で車軸重量は 599kg あり、トング重量は 48kg である。

© 2024—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE UK CA

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3424-689



decal133-8062

133-8062

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
油圧オイルタンクアセンブリ ホースガイド取り付けブラケット	1 1	マシンの準備を行います。
エンジンアセンブリ ボルト½ x 5" バッテリー バッテリー押さえ バッテリー固定ストラップ バッテリーボルト バッテリーボルトスペーサ ワッシャ フランジナット	1 2 1 1 1 2 2 2 2	エンジンを取り付ける。
ホースガイド 油圧戻りホース#3 ホース 油圧吸い込みホース#4 ホース ボルト¼ x ¾" ロックナット¼" ボルト⅜ x 1" ロックナット⅜" 平ワッシャ	1 1 1 4 4 4 4 4	油圧システムを取り付ける。
必要なパーツはありません。	–	組み立てを完了します。

重要 **このキットは牽引車両によって牽引されるプロパス専用です。**

マシンの準備を行う

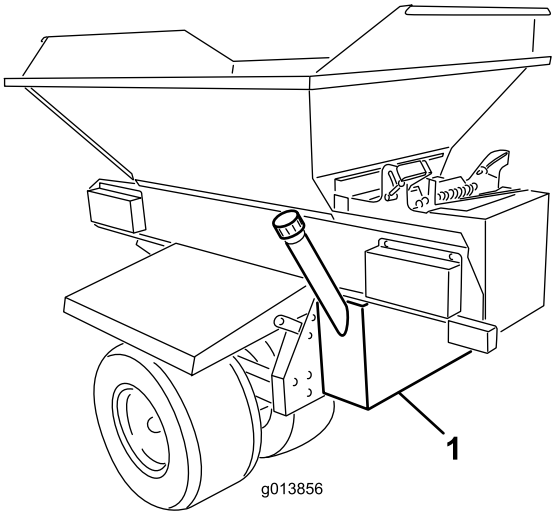
⚠ 注意

外部の油圧系および電気系の接続を外さずにこのキットを取り付けると、感電や高圧の油圧オイルの噴出などによる重大な人身事故を招く恐れがある。

このキットを取り付ける前に、外部の油圧系および電気系の接続をすべて外すこと。

1. 平らな床の上に機体を止め、ジャッキスタンドを立て、トラクションユニットから機体を切り離し、車輪の前後に輪止めを掛ける。
2. 機体用の*オペレーターズマニュアル*の説明に従ってツインスピナーを外し、油圧ホース高圧側と戻り側を固定保護する。

   重要 **シャーシの後壁に既に穴があけてあるプロパスもあります。後壁にすでに穴が開いている場合には、 エンジンを取り付ける (ページ 5)を参照してください。**
3. 油圧オイルタンクを取り付けられるように、シャーシの後壁についている取り付けボルト2本を外して保管する。
4. シャーシの後壁に油圧オイルタンクを取り付けることになるので、この部分がきれいであることを確認する。
5. 油圧タンクの梱包を解く。
6. 油圧タンクを下から支えながら、タンクをシャーシの後壁に取り付ける。タンクが左右方向の中央にあり、また垂直に載っていることを確認する図 1。

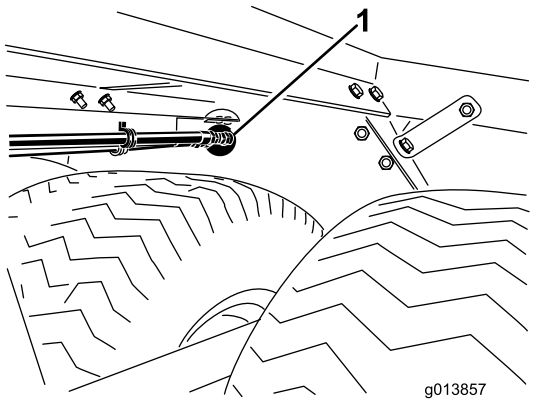


g013856

図 1

1. 油圧オイルタンク

7. オイルの入口フィッティングと出口フィッティング、およびホースガイドの取り付けブラケットがすべてシャーシの後部壁にあいている丸穴に無理なく通ることを確認する図 2。



g013857

図 2

1. シャーシの穴

8. 油圧タンクが水平であることを確認する。
9. クランプなどを使って、油圧タンクをシャーシの後壁の所定位置にしっかりと仮止めする。
10. 油圧タンクが水平であることを確認する。
11. 油圧タンクの取り付け穴の位置を、シャーシの後壁にマーキングする。
12. 油圧タンクのクランプをゆるめてタンクを外す。
13. マーキングした穴の中心位置にポンチを打つ。
14. マーキングした各位置に、直径 7/16"11.11 mmの穴を開ける。
15. 各穴のバリを除去する。

エンジンを取り付ける

1. ヒッチチューブがきれいなこと、ゴミや土がついていないことを確認する。
2. エンジンアセンブリの梱包を解く。
3. エンジン取り付けブラケットをエンジン取り付けプレートに固定しているボルト2本をゆるめる取り外さないこと図 3。

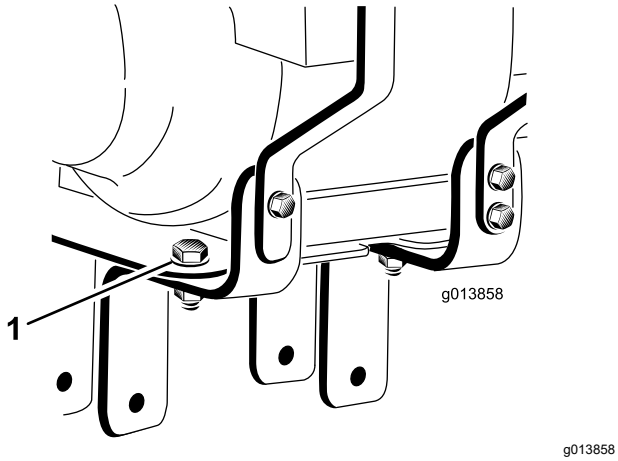


図 3

1. 取り付けボルト2本

4. バッテリー押さえ用ストラップを固定しているナット2個を外し、ナット、ワッシャ、ボルトチューブを脇によける図 4。

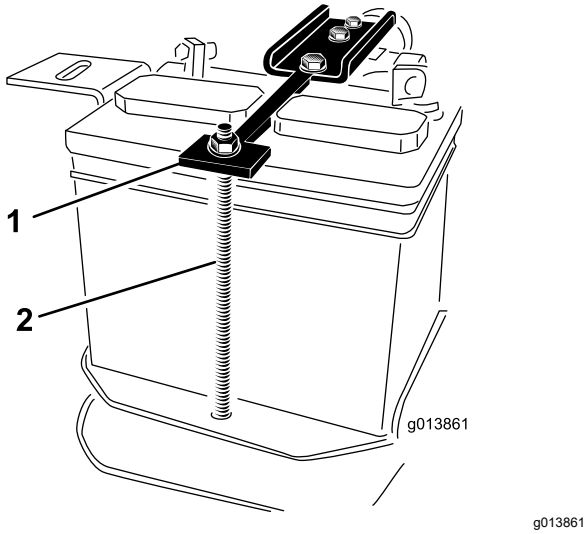


図 4

1. バッテリー押さえストラップ　2. バッテリー押さえボルト2本

5. バッテリーをアセンブリの所定位置から外し、フィルタをベースプレートの上にのせる。
6. バッテリーを充電する; バッテリー液を入れて充電する (ページ 12)を参照。
7. 二人掛かりでエンジンアセンブリをヒッチチューブに載せる。

   エンジンの取り付けブラケットがヒッチチューブ図 5をまたいでいること、また、エンジン取り付けプレートの後部とヒッチチューブのレシーバとの距離が約 25 mmであることを確認する図 6。

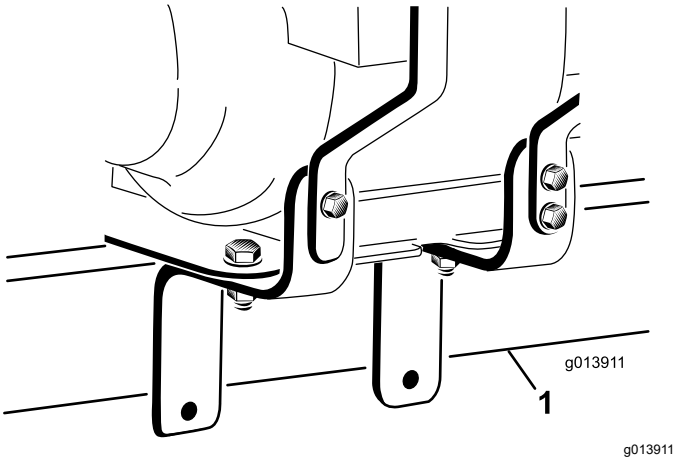


図 5

1. ヒッチチューブ

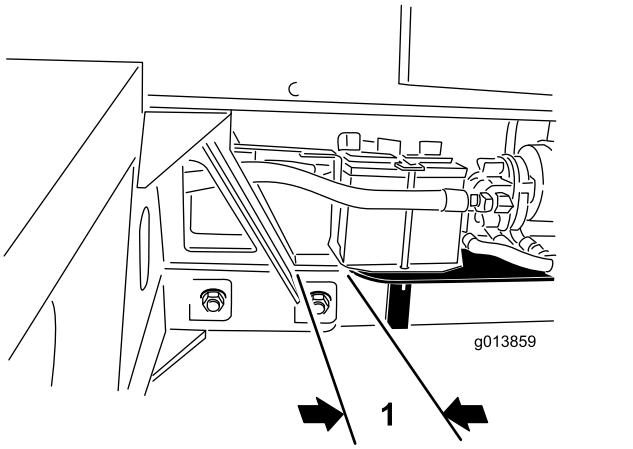


図 6

1. 25 mm

8. エンジン取り付けブラケットの穴にボルト2本½" x 5"を通す エンジン取り付けブラケットの各外側面に平ワッシャが1枚当たるように、また、各ボルトがヒッチチューブの底を貫通するように取り付けること。ナット 2 個½"を図 7のように手締めする。

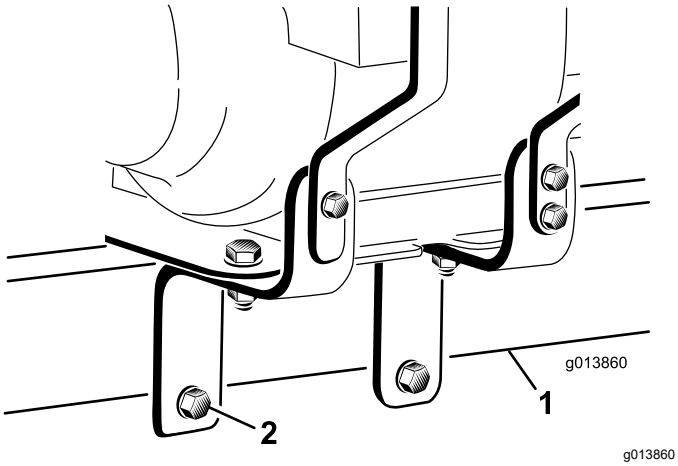


図 7

1. ヒッチチューブ
2. 取り付けボルト2本

9. エンジン取り付けブラケットを調整して、このブラケットがヒッチに対してしっかり取り付くようにする。ステップ3でゆるめたボルト2本を十分に締め付ける。
10. エンジン取り付けプレートが水平になっていることを確認し、エンジン取り付けブラケットの下穴を通っているボルト2本½" x 5"をしっかりと締め付ける。
11. バッテリートレイにバッテリーを載せる端子が図 8のようになるように載せること。
12. バッテリーにバッテリー押さえを取り付ける図 8。
13. バッテリー取り付け用ストラップを、ヒッチチューブの下に保持する図 8。
14. 右側では、ワッシャ、バッテリー押さえストラップ、エンジン取り付けプレート、バッテリートレイ、バッテリーボルトスペーサ、バッテリー押さえを貫通させて、ボルトを取り付ける。そしてフランジナットで仮止めする図 8。

注 必ず、ボルトは下から通すこと。

15. 左側では、ワッシャ、バッテリー押さえストラップ、エンジン取り付けプレート、バッテリートレイ、バッテリーボルトスペーサ、バッテリー押さえを貫通させて、ボルトを取り付ける。そしてフランジナットで仮止めする図 8。
16. 仮止め後、中央に取り付けできていることを確認してナットを本締めする。

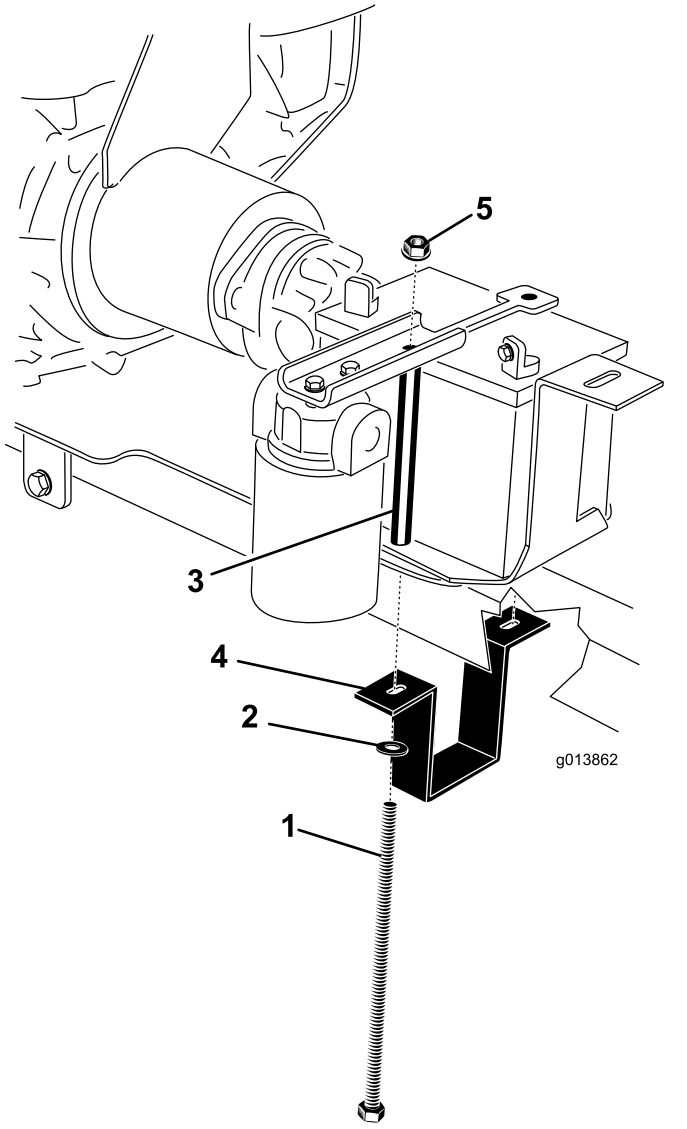


図 8

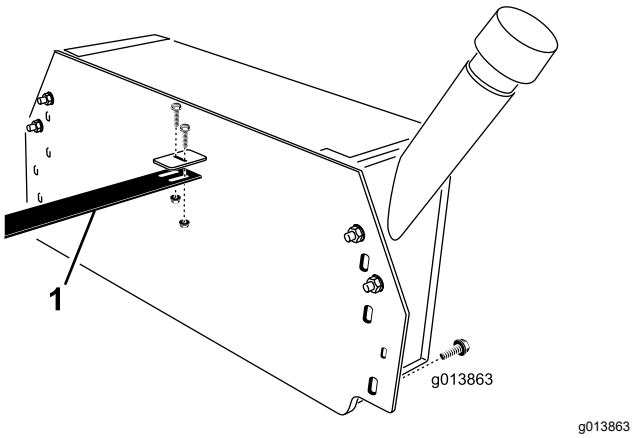
1. バッテリーボルト2本)
2. ワッシャ (2枚)
3. ボルトチューブ
4. バッテリー固定ストラップ
5. フランジロックナット2個

油圧システムを取り付ける

1. 以下を使用できるように準備するホースガイド、戻り側油圧ホースホース#3、吸入側油圧ホースホース #4、ボルト4本¼" x ¾"、ロックナット4個¼"。

   注 出荷用のホースホースガイドに取付けてあるホース、戻り側ホースと吸入側ホースを外します。

2. 油圧オイルタンクのブラケットに、ホースガイドを取り付ける ボルト¼" x ¾"2本、フランジロックナットを使用する図 9。



g013863

図 9

1. ホースガイド

   注 シャーシの後壁から取り付けボルト2本を外す。外したボルトを使用してタンクを取り付ける。

3. ボルト ⅜" x 1" 4本んとナイロンロックナットを使えるようにばらす。油圧タンクを下から支えながら、ホースガイドと油圧ホース #3 および #4 を、シャーシの後部壁の中央についている大きな穴に通し、シャーシの後部壁に油圧タンクを密着させる。そしてクランプかボルトを使ってその位置に油圧タンクを仮止めする。

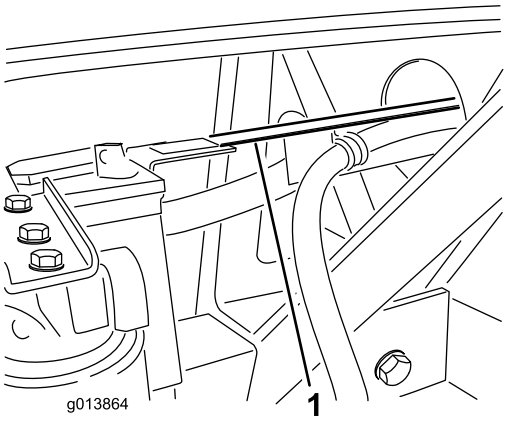
   注 ホースガイドは、シャーシの前側の中央の穴を通るようになります。この作業は 2 人で行うほうが良いでしょう。

4. リターン側油圧ホース#3と吸入側油圧ホース#4を、油圧タンクについているそれぞれのフィッティングにしっかりと接続する。

   注 ホース #3 とホース #4 とは外径が異なっているので、所定のカップラ以外には接続することができません。

   注 ホースを接続する時、タイヤとの間に十分な距離があることを確認する。

5. ホースガイドが、バッテリートレイの垂直の足から出ているタブの上に載るようにする図 10。もしホースガイドの中のホースがバッテリートレイのタブの穴に合わない場合には、ホースガイドの長さを調整してみるホースガイドを油圧タンクのブラケットに固定しているボルトをゆるめて、ホースガイドを前後に移動させる。



g013864

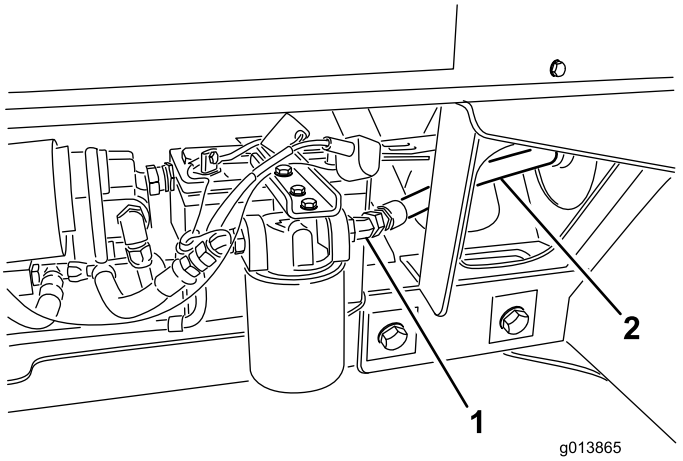
図 10

1. ホースガイド

6. ホースガイドをバッテリートレイのタブに取り付けるボルト¼" x ¾"2本、フランジロックナットを使用する図 10。

7. 先に外しておいたボルトとキットに入っているボルト⅜ x 1"、ナイロンロックナット、平ワッシャを使って、シャーシの後壁に油圧オイルタンクを取り付け、ボルトナットを本締めする。

8. 油圧ホース #3 をフィルタの出口に接続する図 11。



g013865

図 11

1. フィルタの出口
2. 油圧ホース #3

9. 油圧ホース #4 を油圧ポンプの吸い込み側に接続する図 12。

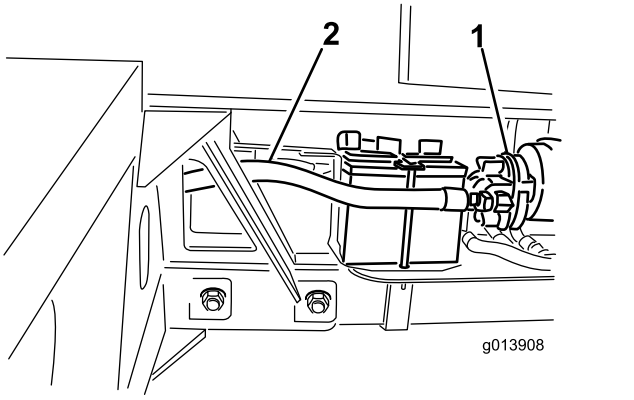


図 12

1. 油圧ポンプ
2. 油圧ホース #4

10. SH バージョンモデル 44701では、機体の前部にカバーを固定している固定具を取り外し、カバーを外して脇においておく図 13。

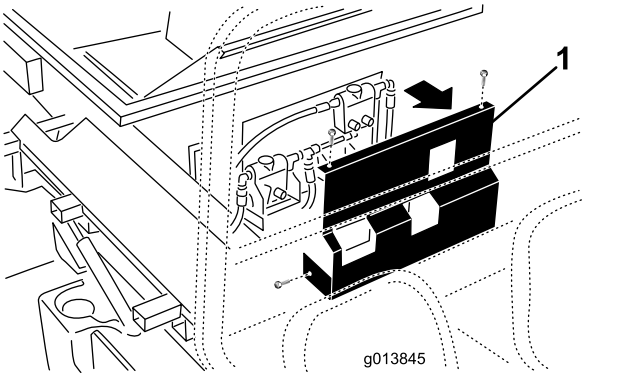


図 13

1. カバー

11. ベースモデルの高圧側および戻り側の油圧接続を確認する。SHバージョンについては 図 14 を参照、EHバージョンについては 図 15 を参照。

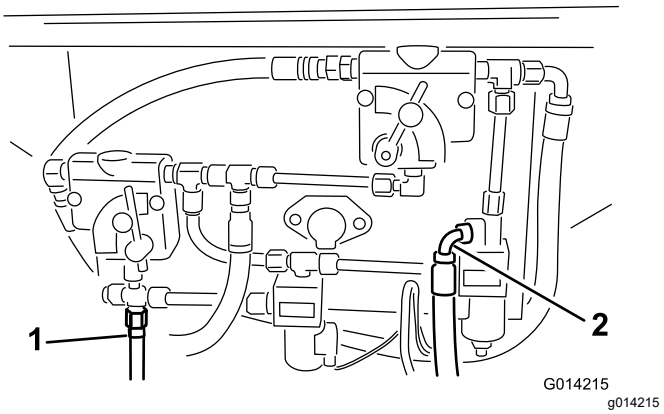


図 14
図は SH バージョン

1. 加圧側
2. Return戻り側

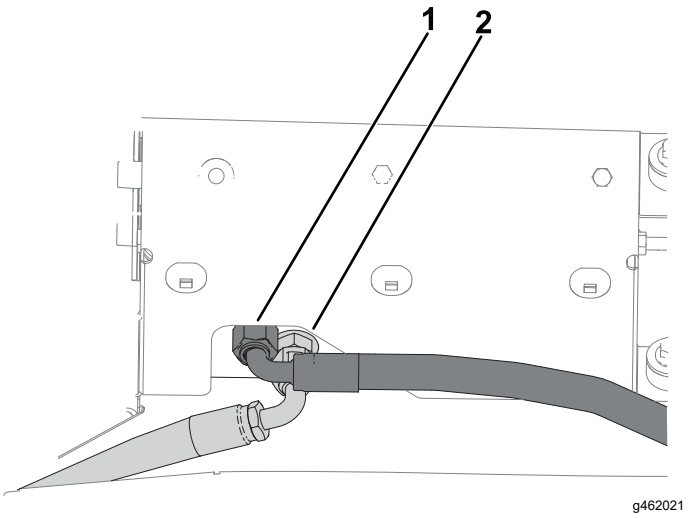


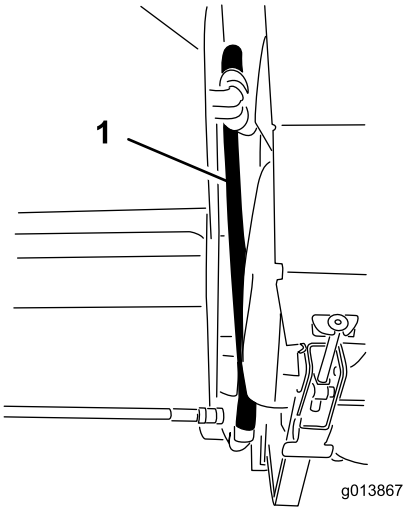
図 15
図は EH バージョン

1. リターン戻り側
2. 加圧側

12. もし、加圧側および戻り側ホースが 図 14 および 図 15 に示す位置に取付けてあった場合には、取り外す。

注 油圧ホースが機械の高温部、鋭利な部分、可動部分を確実に避けるようにしてください。特にマフラーからはできるだけ離して取付けてください。

13. 油圧ホースを油圧コントロールパネルに接続する。SH バージョンについては 図 14 と 図 16 を参照、EH バージョンについては 図 15 と 図 17 を参照。



g013867

図 16

図は SH バージョン

1. ホースの径路

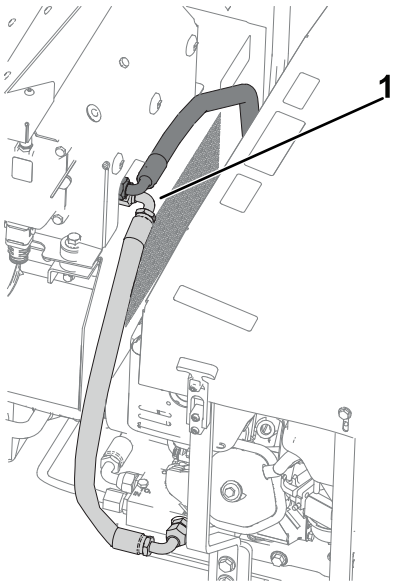


図 17

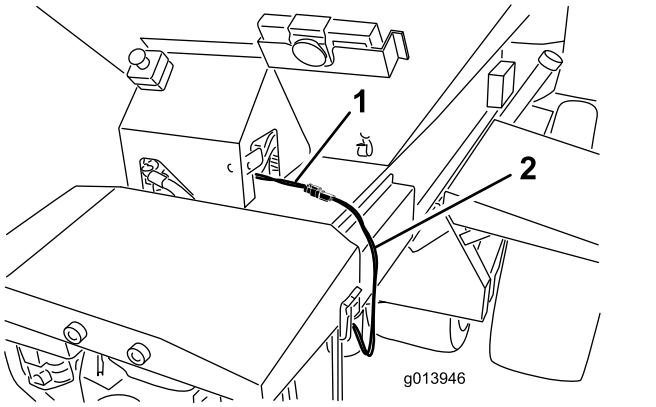
図は EH バージョン

1. ホースの径路

14. 全部の油圧接続部を本締めする。

組み立てを完了する

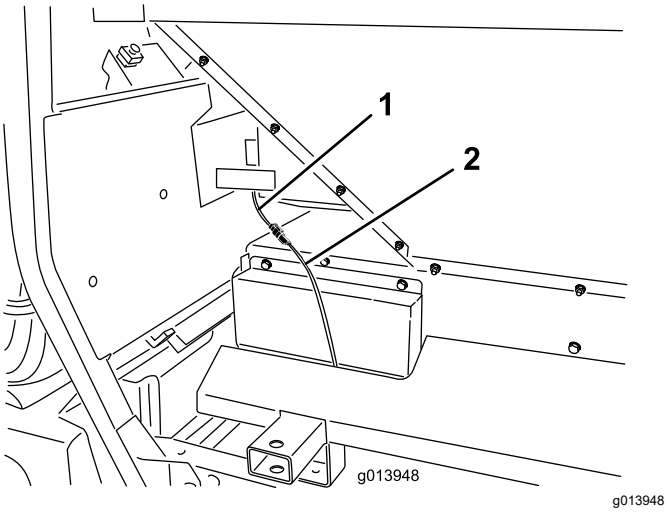
1. ツインスピナーアセンブリを元通りに取り付ける。
2. この黒線と既存の黒いバッテリーケーブルを、バッテリーのマイナス端子に接続し、白線と既存の赤いバッテリーケーブルを、バッテリーのプラス端子に接続する。
3. 中間ワイヤハーネスを、機体の電源ワイヤハーネスのコネクタに接続する図 18 または 図 19。



g013946

図 18

1. 電源ハーネス　　2. 中間ワイヤハーネス



g013948

図 19

1. 電源ハーネス　　2. 中間ワイヤハーネス

4. エンジンを始動する前に、適切な粘度のエンジンオイルを 1 リットルほど入れる エンジンオイルについて (ページ 10)。

   重要 **このエンジンは出荷時にオイルを入れておりません。オイルを入れずに始動させるとエンジンが破損する可能性があります。**

5. エンジンを初めて作動させる前に、エンジンオイルの量を点検する エンジンオイルについて (ページ 10) を参照。

6. 油圧オイルタンクに適切な油圧オイルを入れる 油圧オイルについて (ページ 11) を参照。

   重要 **油圧システムは、実際に駆動するまでは、完全にオイルが充填されていな状態です。初めて油圧システムを使用した後は、油圧オイルの量を確認し、必要に応じて適正量までオイルを補給してください。**

運転操作

⚠ 注意

パワーパックに対して作業を行う場合は全てのコントロール装置が OFF になっていることを確認する。

エンジンオイルについて

重要 **出荷時にエンジンオイルを*入れておりません*。さらに詳しい情報については、エンジンマニュアル をご覧ください。**

エンジンはオイルを **抜いた状態で**出荷されていますので、始動前にオイルを約 1 リットル入れてください。

初めての運転の前に必ずオイルの量を確認し、その後は毎日点検してください。

オイルは、API米国石油協会の SJ、SL またはそれ以上のグレードの高品質オイルを使用します。オイルの粘度 - 重量 - 外気温度に応じて選択する。図 20図に、外気温と粘度の関係を示します。

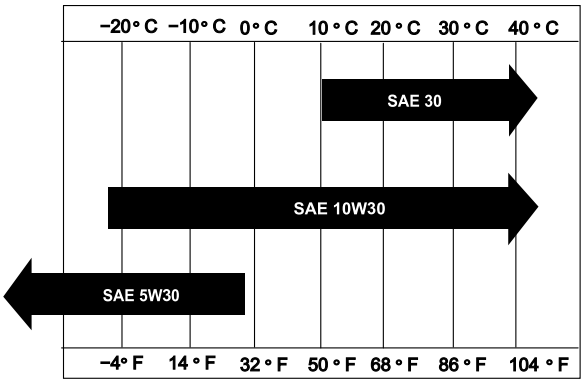


図 20

1. エンジンが水平になるようにして駐車する。
2. キャップ兼ディップスティックの周囲をきれいに拭く。
3. オイルフィルタのキャップ/ディップスティックを左に回して抜きとる。
4. スティックをウェスできれいに拭き、もう一度差し込む。スティックはねじ込まずに差し込むこと。
5. ディップスティックをもう一度抜きとって、オイルの量を点検する。
6. オイル量がディップスティックの最低限度マークより下、またはその付近にある場合には、ディップスティックの最高限度マークのすぐ下までオイルを補給する

   重要 **入れすぎないように注意してください。**

7. エンジンオイルの量をもう一度点検する。

8. オイルフィルタのキャップ/ディップスティックを元通りに取り付け、こぼれたオイルをふき取る。

重要 **オイルの量が適切であることを確認してください。エンジンオイルの量が適切でないと、クランキングしてもエンジンが始動しません。**

油圧オイルについて

出荷時に油圧オイルを入れておりません 高品質の油圧作動油 32.9 リットルを入れてください。初めての運転の前に必ず油量を確認し、その後は毎日点検してください。 推奨オイルの銘柄を以下に示します

Toro プレミアムトランスミッション/油圧トラクタオイル (19 リットル缶または208 リットル缶。パーツカタログまたは代理店でパーツ番号をご確認ください。

使用可能な他のオイルToroオイルが入手できない場合は、以下に挙げる特性条件および産業規格を満たす石油系のユニバーサル・トラクタ油圧オイルUTHFを使用することができます。合成オイルの使用はお奨めできません。オイルの専門業者と相談の上、適切なオイルを選択してください

重要 **油圧システムは、実際に駆動するまでは、完全にオイルが充填されていな状態です。初めて油圧システムを使用した後は、油圧オイルの量を確認し、必要に応じて適正量までオイルを補給してください。**

注 不適切なオイルの使用による損害については弊社は責任を持ちかねますので、品質の確かな製品をお使い下さる様お願いいたします。

物性

粘度, ASTM D445	cSt @ 40°C 55 62 cSt @ 100°C 9.19.8
粘性インデックス ASTM D2270	140 – 152
流動点, ASTM D97	-37℃ - 43℃

産業規格

API GL-4, AGCO Powerfluid 821 XL, Ford New Holland FNHA-2-C-201.00, Kubota UDT, John Deere J20C, Vickers 35VQ25, および Volvo WB-101/BM

注 多くの油圧オイルはほとんど無色透明であり、そのためオイル洩れの発見が遅れがちです。油圧オイル用の着色剤20cc 瓶をお使いいただくと便利です。1瓶で15-22 リットルのオイルに使用できます。パーツ番号は44-2500。ご注文はトロ社の代理店へ。

燃料についての安全事項

- 燃料の取り扱いに際しては安全に特にご注意ください。燃料は引火性が高く、気化すると爆発する可能性があります。
- 燃料取り扱い前に、引火の原因になり得るタバコ、パイプなど、すべての火気を始末してください。
- 燃料の保管は必ず認可された容器で行ってください。
- エンジン回転中などエンジンが高温の時には、燃料タンクのふたを開けたり給油したりしないでください。
- 締め切った場所では燃料の補給や抜き取りをしないでください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、機械や燃料容器を保管格納しないでください。
- 燃料がこぼれたら、エンジンを始動せずにマシンを別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけないでください。

燃料を補給する

燃料タンク容量6.1 リットル

使用推奨燃料

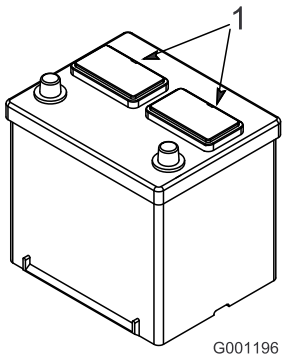
- 機械の性能を最も良く発揮させるために、オクタン価87以上の、きれいで新しい購入後30日以内無鉛ガソリンを使ってくださいオクタン価評価法は(R+M)/2 を採用 。
- エタノールエタノールを添加10% までしたガソリン、MTBEメチル第3ブチルエーテル添加ガソリン15% までを使用することが可能です。エタノールとMTBEとは別々の物質です。エタノール添加ガソリン15% 添加=E15は使用できません。エタノール含有率が10% を超えるガソリンたとえば E15含有率 15%、E20含有率 20%、E85含有率 85%は絶対に使用してはなりません。これらの燃料を使用した場合には性能が十分に発揮されず、エンジンに損傷が発生する恐れがあり、仮にそのようなトラブルが発生しても製品保証の対象とはなりません。
- ガソリン含有メタノールは使用できません。
- 燃料タンクや保管容器でガソリンを冬越しさせないでください。 冬越しさせる場合には必ずスタビライザ品質安定剤を添加してください。
- ガソリンにオイルを混合しないでください。

バッテリー液を入れて充電する

バッテリーに補給する電解液は必ず比重 1.265 のものを使用してください。

1. バッテリーの上部をきれいに拭い、キャップを取り外す (図 21)。

   重要 **機体にバッテリーを載せたままで電解液を入れないでください。電解液がこぼれた場合、機体が激しく腐食します。**

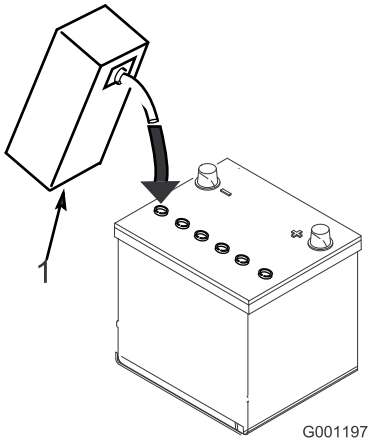


g001196

図 21

1. キャップ

2. 各セルの電極板が液面下 6 mm 程度に水没するまで、電解液を慎重に入れる図 22。



g001197

図 22

1. 電解液

3. 電極板が液を吸収するまで 20-30 分間程度待つ。必要に応じて、電極板が 6 mm 程度水没するぐらいに電解液を補充する図 22。

⚠ 警告

充電中は爆発性のガスが発生する。

充電中は絶対禁煙を厳守。バッテリーに火気を近づけない。

4. 充電器に接続し、充電電流を 3-4 A にセットする。3-4 Aで充電する。電解液の比重が1.250 以上、液温が 16℃ 以上、全部の電極板から泡が出ていれば充電終了である。

5. 充電が終わったらチャージャをコンセントから抜き、バッテリー端子からはずす。

   注 最初の充電以後は、バッテリー液が不足した場合には蒸留水以外補給しないでください。この機械に使用しているバッテリーはメンテナンスフリーですので、通常は水の補給もほとんど必要ありません。

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品やトラクタの金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- **バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。**
- **バッテリーの端子と金属を接触させない。**

ヒント

- 機体を牽引車両のクレビスヒッチに接続する。ヒッチピンは牽引車両用に認可されている高張力ピンを使用すること。
- 燃料バルブを開き、スロットルレバーを真ん中の位置にし、チョークを掛けて、エンジンを掛ける。エンジンが掛かったらチョークをOFFにし、スロットルを全開にする。
- 動作確認をする。油圧漏れがないことを確認し、必要に応じて調整を行う。
- 油圧装置の試運転を行ったら、油圧オイル量を確認し、必要なら補給する。

  注 運転中にペンダントスイッチやコードを引きずらないよう注意すること。

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44713	315000001 以上	油圧パワーパック	PROPASS HYD POWER PACK	油圧パワーパック	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
3月 25, 2024

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する規制に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44713	315000001 以上	油圧パワーパック	PROPASS HYD POWER PACK	油圧パワーパック	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.159のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
3月 25, 2024

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう

警告ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

第65号決議って何?

第65号決議は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。第65号決議の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

第65号決議は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、第65号決議警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへhttps://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all

第65号決議の警告は、以下のうちのどちらかを意味しています1ある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

第65号決議警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。第65号決議警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

第65号決議の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。第65号決議の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、第65号決議では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、第65号決議の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には第65号決議ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- 第65号決議関連で裁判となった企業が、和解条件として第65号決議警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- 第65号決議の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、第65号決議基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて第65号決議警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、第65号決議の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。

Toro 一般業務用機器の品質保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「 製品 」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「 製品 」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「 製品 」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「 製品 」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「 製品 」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「 製品 」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「 汚れや傷 」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「 部品 」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「 製品 」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。